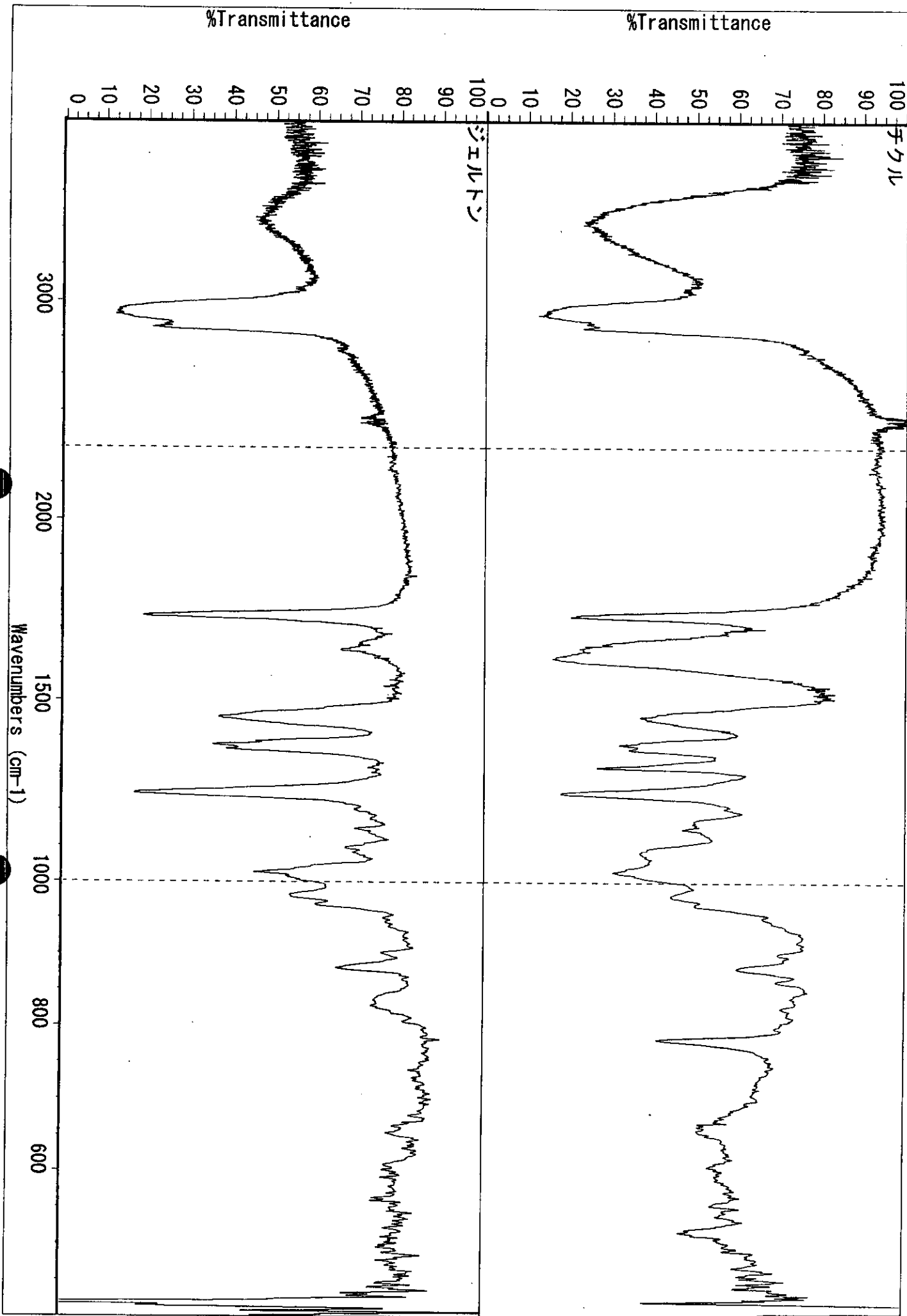
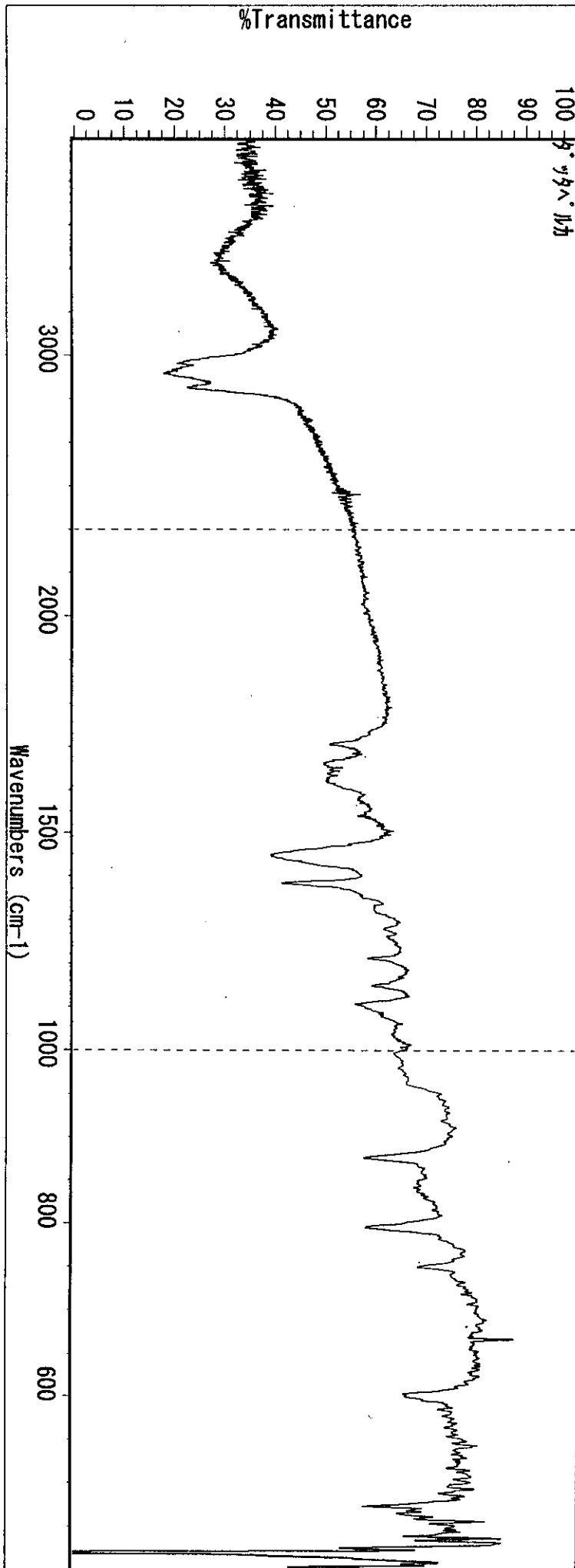


(2) - 2. ガムベースについて

試料として、塊状のチクルとジェルトン及びフレーク状のダッタペルカの提供を受けた。まず、これらの3種のガムベースのヌジョール法での測定を試みたが、これらはヌジョールに分散されず、測定はできなかった。したがって、ヌジョール法は適用できないと判断した。そこで、KBr法による測定を試みた結果、次に示すスペクトルがえられた。しかし、ガム状の物質であるため、KBrへの分散が困難で、少しずつKBrを加えて長時間かけて分散させる必要があった。とくに、ダッタペルカの分散は困難であった。

以上のことから、ガムベースの場合、「少しずつKBrを加えて、長時間かけて試料をよくKBrに分散させた後、錠剤を作製する。」などの注釈が必要であると考えられる。





(3) 食品香料の赤外吸収スペクトル (IR) について

今年度は、食品香料 24 品目 (42 製品) の提供をうけ、それらの IR を測定することにした。これらの試料のうち、液体試料については液膜法を、固体試料についてはヌジョール法と KBr 法で測定した。次ページ以降に得られた IR をサンプルリストと共に示す。

以下に簡単に各試料 (告示番号順に告示番号で記す) についてのコメントを記す。

液体試料である告示番号 12, 16, 24, 32, 38, 55, 56, 66, 109, 115, 117, 128, 134, 197 および 224 の製品については、良好な IR が得られた。また、2 製品提供を受けた製品についても、製品間の IR に差が認められなかった。したがって、確認試験に液膜法による IR を使用するのが適切であると考えられる。しかし、類似の波数に吸収帯を持つものも多いので、参照スペクトル法で行うほうが良いと考えている。

H14.12.9

IR測定用サンプルリスト

告示番号	化合物	サンプル数	提供会社 記号	ロットNo.	JECFA		備考
					確認	試験	
1	12 アセト酢酸エチル	2	SIO IFE	205001 861v071		IR	
2	16 α-アミルシンナムアルデヒド	2	SIO IFE	1256 144345		IR	
3	24 アントラニル酸メチル	2	INO QUE	1520311 1526131			
4	32 イソチオシアニル酸アリル	1	NAG SOD	021121 221030			
5	38 γ-ウンデカラクトン	2	INO	8628214		IR	
6	55 オクタナール	2	IFE NAG	19130 021121		IR	
7	56 オクタノ酸エチル	2	NAG GIV	021206 4600049536		IR	
8	66 ギ酸イソアミル	2	INO GIV	6124221 4600042808		IR	
9	109 酢酸シクロヘキシル	1	RIK	1128021			
10	115 酢酸フェネチル	2	KOB RIK	001311 8193266			
11	117 酢酸ベンジル	2	KOB RIK	112010 8117191		IR	
12	128 シクロヘキシルプロピオン酸アリル	1	INO	1127104-2		IR	
13	134 1,8-ジネオニール	1	SOD	220901			
14	197 テカノ酸エチル	1	TIC	2F8300		IR	
15	224 γ-ノナラクトン	2	INO SOD	8627013 220909		IR	
16	227 バニリン	2	SIO GIV	MAL03 4600048760			
17	243 ビヘロチール	1	QUE	8627014			
18	255 フェニル酢酸イソアミル	2	IAK HAS	021209 020828			
19	256 フェニル酢酸イソブチル	2	TAK HAS	021209 020725			
20	257 フェニル酢酸エチル	2	HAS QUE	010219 1112211			
21	270 プロピオン酸ベンジル	2	INO OGW	0703725 138			
22	279 ベンズアルデヒド	2	INO OGW	0700244 528		IR	
23	298 メチル β-ナフチルクトン	2	INB OGW	0705475 188		IR	
24	307 酪酸シクロヘキシル	2	NAG KOB	021121 1133111			

